NEWS　RELEASE

国土交通省

国土交通省近畿運輸局

問い合わせ先
鉄道部安全指導課　久保・森脇
（電話）０６－６９４９－６４４０

令和４年５月３０日

駅ホームや鉄道車両を活用した視覚障害者の歩行訓練の実施について

視覚障害者の方が駅ホームから転落する痛ましい事故が続いています。転落事故を防ぐためにはホームドアの整備が有効ですが、整備に多くの時間や費用を要することや、構造等の要因で整備が困難なホームもあることから、ホームドアによらない転落防止対策が喫緊の課題となっています。

国土交通省では、「新技術等を活用した駅ホームにおける視覚障害者の安全対策検討会」を開催し、課題解決のための検討を進めていますが、検討会では、白杖を正しく用いることで、転落する危険性を減少することが可能とのご意見も多くいただいております。

この度、近畿運輸局では、日本歩行訓練士会、京阪電気鉄道株式会社と協力し、視覚障害者の訓練機会の創出、鉄道事業者のホーム上での安全対策の向上を目的とした、駅ホームや鉄道車両を活用した歩行訓練を実施しますので、お知らせいたします。

１．実施日時　令和４年６月１日（水）１２：１０～１５：００

２．実施場所　京阪電気鉄道株式会社　中書島駅、総合研修センター

３．内容

12：00　集合
12：40　鉄道構造物（軌道やホーム、退避場所および車両体験）体験
13：30　ホームを使用した歩行訓練、回送列車を使用した乗降訓練
14：30　意見交換

４．協力　　日本歩行訓練士会、京阪電気鉄道株式会社

５．取材　　取材可
※　取材の際は、別紙 により事前にお申し込みをいただき、
現地ではマスクの着用をお願いいたします。

配付先
青灯クラブ
近畿電鉄記者クラブ

（別紙）

ＦＡＸ番号：０６－６９４９－６５２９

駅ホームや鉄道車両を活用した視覚障害者による歩行訓練　取材申込書

お名前	勤務先	ご連絡先（電話番号）

コロナウイルス感染症拡大防止対策として、連絡先のご記入をお願いします。
上記ＦＡＸ番号にて　**５月３１日（火）１６時**　までにご送信ください。

（※）取材当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として以下にご協力ください。
- 発熱・体調不良の方はご遠慮ください。
- マスクの着用をお願いします。
- 各社必要最小限の人数でお願いいたします。

参考

ホームや車両を用いた歩行訓練の実施事例（令和3年度実施分）

○ 令和3年10月に阪神大阪梅田駅、同年11月に南海難波駅、令和4年2月に阪急嵐山駅にて実施
○ 実際のホームや車両を用いて、正しい白杖の使い方、ホーム上の歩行方法や車両の乗降方法等を学習

（連絡先）
近畿運輸局鉄道部安全指導課
電話　０６－６９４９－６４４０
担当　久保・森脇